

1.近代革命の時代



目標時間
10分

- (1) 社会はそもそも個人の契約で成り立っているという説。権力者が個人の意見に反する行動を起こした場合、委託は取り消され、権力はなくなるとして、近代革命の指導的原理となった。
- (2) 社会契約説と抵抗権を唱えた啓蒙思想家。
- (3) 法の精神と三権分立を説いた啓蒙思想家。
- (4) 社会契約説と人民主権を主張した啓蒙思想家。
- (5) 17世紀半ばイギリスで唱えられた、国王の権限は神からあたえられたもので、国民はこれに従わなければならないとする説。
- (6) 17世紀の半ばのイギリスで、クロムウェルの指導によって実現した共和制の革命。
- (7) (5)は長く続かず、1688、89年には議会を尊重する国王を立てて権利章典を制定した革命。
- (8) (6)によって確立した憲法にもとづいて君主(国王や皇帝)が政治を行う国家形態。君主の権限が議会によって制限される場合と君主に権限が集中する場合がある。
- (9) (6)によって確立した、国民の代表である議員が選ばれ、その議員による議会によって政治が行われるしくみ。
- (10) 18世紀後半に、イギリス本国が新しい税を課し、反対運動を弾圧したことに抗議して1776年にアメリカが発表した宣言。
- (11) アメリカ合衆国の初代大統領。
- (12) 17世紀後半のフランスなどで国王が絶対的な権力をにぎったこと。
- (13) (12)当時の第一身分。免税などの特権を持っていた。
- (14) (13)当時の第二身分。免税などの特権を持っていた。
- (15) (14)当時の人口の90%を占める第三身分。
- (16) 1789年にパリなどの地方で人々が立ち上がり、起きた革命。
- (17) 身分の特権を廃止し、自由・平等・人民主権・私有財産の不可侵などをうたう宣言。
- (18) 1804年にフランスの肯定の位についた軍人。ナショナリズムの高まりで1815年に支配はおわった。
- (19) (18)が定めた、法の下での平等、経済活動の自由、家族の尊重を定める法律。

社会契約説

ロック

モンテスキュー

ルソー

王権神授説

ピューリタン革命

名誉革命

立憲君主制

議会政治

独立宣言

ジョージ・ワシントン

絶対王政

聖職者

貴族

平民

フランス革命

人権宣言

ナポレオン

民法典(ナポレオン法典)

日付

1回目

日付

2回目

日付

3回目

(間違えた番号)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17 18 19

(間違えた番号)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17 18 19

(間違えた番号)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17 18 19

